

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

アンケート:平成30年 12月 6日

事業所名 ぽんぽこ扶桑(児童発達) 保護者等数(児童数) 1 回収数 1 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					スペース面積は最低基準は十分に満たしていますが、ボール遊びが安心してできる高さではありません。万が一に備えて、照明をLED化し万が一ボールがあっても危険が極力少なくなるようにしました。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					障害児保育に長年のキャリアのある職員達があります。ご心配な事は、いつでも相談してみてください。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					車イスを想定してバリアフリーとし、トイレも車イスで入れるようになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					個別指導は小さい空間で行い、運動活動は学齢期の子も達とともに、広い空間で行うなど、使い分けられるようにしている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					相談支援事業所とも連携し、子どもの姿から課題を明確にし、支援内容は、ご家庭でも学校でも応用していただけるよう工夫しています。ご意見等あれば、何時でもお申し出ください。共に検討し計画に反映していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					子どもの姿から課題を明確にし、その子どもが属する場所(家庭・事業所・幼児教育機関)と連携を図ることで、同じ方向性で支援をしていくことを大切にしています。そのため、支援内容は関わる者たちが同じように支援できるよう具体的に示せるように工夫しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					計画は療育記録に挟み、それに沿った支援ができていないかを意識して毎日記録できるように心がけています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					活動の要素は言語・コミュニケーション・体の動き・考え工夫する等様々。それらに年齢要素、季節・行事など考えてプログラムを工夫しています。その一方、毎日コツコツ積み重ねて経験身に付けさせる内容も大切です。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				100%		障害のないお子さんとの交流の機会であるワンスポなどの事業はありますが、機会も少なく、幼児教育機関との交流も、今後の課題です。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					重要事項説明書や、その年の「利用の手引き」でお伝えしていますが、その場にならないとわからないことも多いと思います。いつでも何でも気軽にご確認ください。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					今後は、支援の柱立てを示しながら個別懇談することで、より子どもの発達段階と、支援内容の理解を深めていきたいと考えています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか				100%		安心して子育てができる家庭環境は、子どもの発達を促すために重要と考えています。これまでの取り組みを整理し、プログラムをお示しできるようにしていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%					送迎時やぽんぽこ帳にて情報交換が可能です。それでも不十分な場合は、改めて時間をお取りして相談を受け付けていますので、お尋ねください。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					年2回の個別懇談のほか、必要に応じていつでも相談に応じる体制があります。遠慮なくお申し出ください。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		100%			参加できていない為	ファミリータイムというのが、父母会です。ラインで情報を流しています。まだ登録されていない場合は、お申し出ください。講演会、座談会、おやじの会、ママの会などを実施し保護者間の交流を図っています。今年度の講演会は、大山警察署にお願いしました。法律を守るということを親にも子にもわかりやすく伝えていただきました。よろしければ是非ご参加ください。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					何時でも対応いたします。遠慮なくお申し出ください。連絡先は、重要事項説明書に記載してありますし、事業所内に掲示もしております。わからない事は、お尋ねください。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					送迎時やぽんぽこ帳などで意思疎通を図りたいと思っていますが、時間などの制約で行き届かない点も多々あるかと思えます。気づかれましたらいつでも遠慮なくお申し出ください。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%					お伝えしたい内容は、月のたよりのほか、必要に応じ、通信を出しています。ホームページは「ぽんぽこネットワーク」で検索してください。ブログもぜひご覧ください。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%					個人情報は本当に注意するよう心がけています。情報を共有した方が、子供たちの成長を促進できる場合は、ご了承いただいたうえで、関係機関と情報を共有致します。
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	100%					緊急時、感染時のマニュアルはお届けしたり、事業所に掲示したりしています。しかし、それで十分周知されているとはいえ、まだまだ改善が必要です。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%					月1回地震・火災等を想定して避難訓練を実施しています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか		100%			登所するときはドキドキするそうです。	職員やお友達との関係が深まり、安心して登所できるように、皆で見守ってきます。年齢が小さいとしても、それなりに理解し、乗り越える力をつけてもらい、それを達成した時に、利用してよかったと思っていただけたら嬉しいです。
	23 事業所の支援に満足しているか	100%					ありがとうございます。これからも、向上心を忘れず、前向きに取り組んでいきます。